



# 吉川小だより 12月号

京都府亀岡市立吉川小学校 令和5年11月30日発行

〒621-0014 亀岡市吉川町穴川平田17番地 TEL 0771-22-1210

E-Mail el-yoshikawa@edu.city.kameoka.kyoto.jp



カラー版は吉川小HPで！ ↑

## スマイル いっぱい！



やはり亀岡盆地のど真ん中なのでしょう。周辺部より一層深い霧が吉川の里を覆っているように思います。明けるのが11時前の日もあり、お日様が待ち遠しいです。また、インフルエンザの流行も続き、本校も少なからず影響を受けています。どうか皆様、お気をつけください。

さて、今週の参観日には、多くの保護者の皆様、学校運営委員の皆様にお越しいただきありがとうございました。人権月間のまとめの週となり、各学年の人権学習の様子をご覧いただきました。人権を守るためには、親切、思いやり、友情、正義、公正公平などの心を、豊かな人権感覚のある環境をみんなで作り出すことが大切です。そのためには「良いと感じるもの」だけでなく、特に「いけないと感じるもの」も共有することが重要です。「それはおかしい。それはあかん」と一人一人が気づく、感じる力を育てなければなりません。そして、各ご家庭での文化やご指導、しつけ、人権に対する考え方を子どもたちは自分のこととして捉え、学校で友達と共有します。「そんなことしたらママに怒られるわ！」「うちは怒られへんし」「怒られんでもあかんで」「そやなあ。ごめん」って具合です。そして、学校でもよりよい選択や判断についてみんなで考えることを大切にしています。こうした積み重ねによって人権に対する価値観や人権意識が一定、どの子にも定着し実践へと移せるようになっていくのです。

1ヶ月間のスマイル大作戦では、数え切れないほど、友達の、そして自分のスマイルを見つけることができました。また、各学年では、「ほかりンピック」や「ほめようプロジェクト」など心温まる取組を次々と行いました。月間が終わっても、悩んだ

り、悲しんだり、困ったりしている友だちに気づき、声を掛け合い、考えや思いを伝え合っ



スマイルをどんどん見つけて貼る吉川っ子！

て、互いにわかり合える学級、学校をめざします。日々の生活の中で「これはどうかな…」という子どもの気づきが増えますよう引き続き保護者・地域の皆様のお支えをお願いいたします。

2学期も残り15日となりました。たくさん学習・行事をしっかりと振り返り、3学期、また新年の準備につなげます。益々せわしくなりますが、一人一人の伸びや課題についてしっかりと確かめ、丁寧に、最後まで全力で取り組みます。テスト・学習プリントの直しや復習など、ご家庭でも子どもたちの状況を把握いただき、今すべきこと、やっておかないと困ることは学校といっしょになってやり切れるようお力添えください。よろしくをお願いいたします。

校長 藤田 哲也

## 駅伝大会 たすきに思いを！

11月11日に亀岡市駅伝大会、18日には京都丹波キッズ駅伝があり、本校5・6年生も力走しました。積極的に出場したい！という子どもや1ヶ月前から登校後毎朝自主的に校庭を走る子どももいて、さすが「吉川っ子」と感激しました。児童会目標「チャレンジ！」が吉川小の伝統になっているようで本当にうれしいことです。保護者の皆様、温かいご声援ありがとうございました。

